

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和03年08月24日
計画の名称	大井町における循環のみの実現											
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	大井町											
計画の目標	大井中央土地区画整理事業に伴う、新たな市街地における下水道未普及対策を重点的に取り組む。 下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	238	A	128	B	110	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(R2末)
1	下水道処理人口普及率を88.0%（H28）から90.0%（R2）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	88%	88%	90%
2	アクションプランの策定率を0%（H28）から100%（R2）にする。			
	アクションプラン策定率 計画策定済数（件）／計画策定必要数（件）	0%	100%	100%
3	整備区域内の下水道管渠におけるストックマネジメント計画策定率を0%（H28）から100%（R2）に増加させる。			
	管渠のストックマネジメント計画策定率 策定済みストックマネジメント計画数／策定すべきストックマネジメント計画数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
平成30年度から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大井町	直接	大井町	管渠（ 污水）	新設	第4処理分区・第5処理 分区枝線整備	土地区画整理事業等 10. 3 h a	大井町	■	■				120		－	
	A07-002	下水道	一般	大井町	直接	大井町	管渠（ 污水）	－	効率的汚水処理整備計画 策定（全域）	未普及解消アクションプラン の策定	大井町	■					4		－	
	A07-003	下水道	一般	大井町	直接	大井町	－	－	ストックマネジメント計 画策定事業（整備区域内 ）	調査・計画策定	大井町						■	4		－
											小計							128		
											合計							128		

B 関連社会資本整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	B07-001	下水道	一般	大井町	直接	大井町	管渠（ 汚水）	新設	アクションプランに基づ く未普及対策事業	土地区画整理事業等 9. 8 h a	大井町			■	■	■	110		—	
		平成30年度から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する。																		
												小計						110		
											合計						110			

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
定量的指標の達成状況について、大井町下水道運営審議会において評価を実施した。	令和3年度
	公表の方法
	町ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

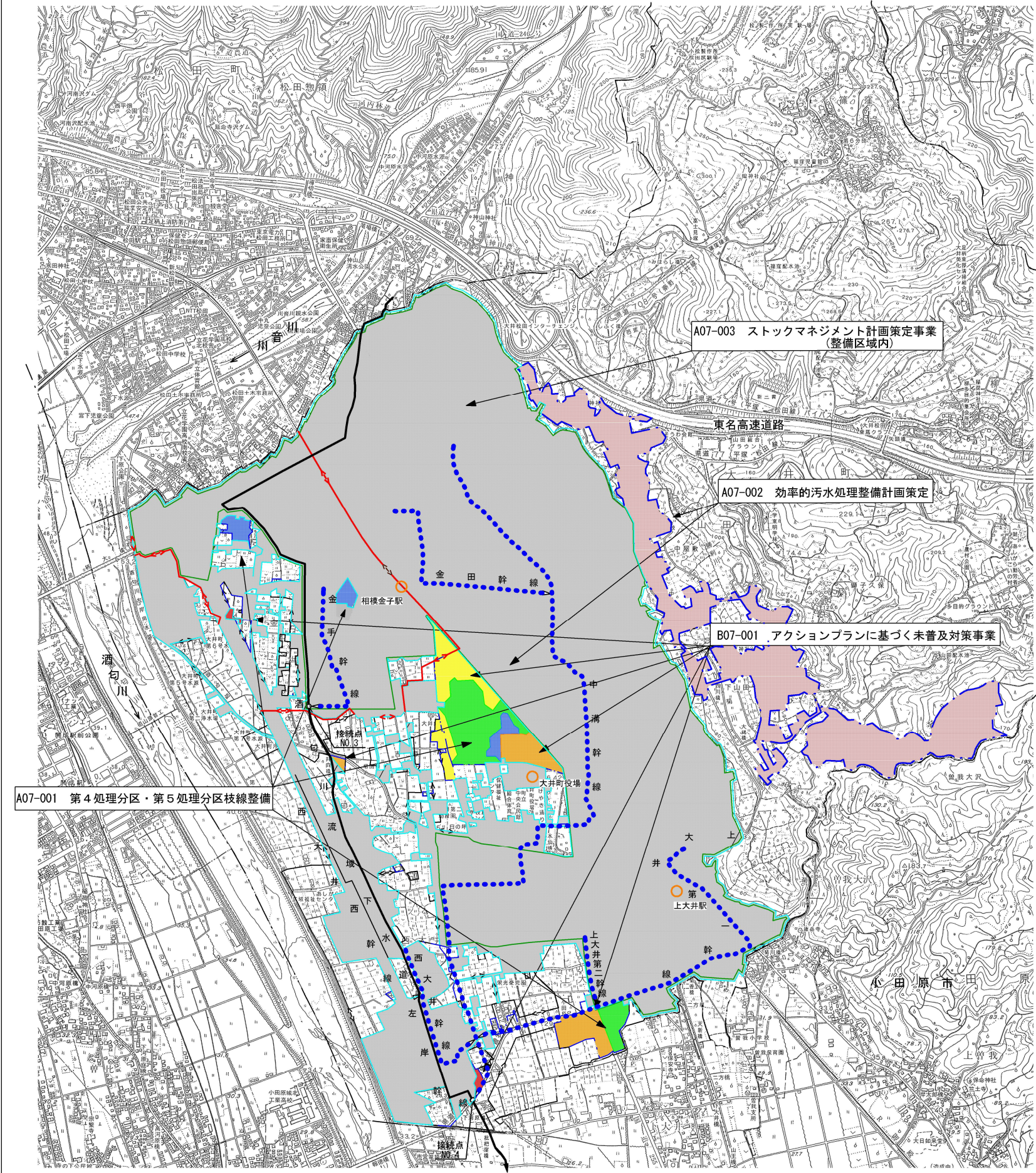
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1 汚水管渠の整備を進めたことにより、下水道処理人口普及率が増加した。 2 アクションプランについては、予定どおり策定できた。 3 スtockマネジメント計画については、予定どおり策定できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	1 未普及解消が進み、生活環境の向上と公共用水域の水質保全が図られた。 2 アクションプランの策定により、効率的かつ効果的な整備手法などが策定できた。 3 スtockマネジメント計画の策定により、維持管理費の平準化が図られる予定ある。

○特記事項（今後の方針等）

1 今後も汚水管渠の整備を推進し、下水道処理人口普及率を向上させる必要がある。 2 投資的效果を発現させるため、啓発事業や戸別訪問を実施し水洗化率を向上させるとともに、使用料収入を増加させ良好な経営を構築する必要がある。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	90%	計画どおり面整備を行った。
	最 終 実績値	90%	
2	アクションプラン策定率		
	最 終 目標値	100%	計画どおりアクションプランを策定した。
	最 終 実績値	100%	
3	管渠のストックマネジメント計画策定率		
	最 終 目標値	100%	計画どおり管渠のストックマネジメント計画を策定した。
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	大井町における循環のみちの実現		
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）	交付対象	大井町



凡 例（１）	
記 号	名 称
— · — · — · —	行 政 区 域
— <—> —	全体計画区域
— <—> — (red)	処 理 分 区 界
— (green) —	市 街 化 区 域
— · — · — (blue)	事業計画区域界
→ (black)	流域下水道幹線
○ 接続点 NO. 4	流域下水道接続点 及 び 接 続 番 号
— · — · — (blue dashed)	幹 線 管 渠
■ (purple)	今回事業計画区域
■ (grey)	既事業計画区域

凡 例（２）	
記 号	施工年度
■ (blue)	平成28年度
■ (green)	平成29年度
■ (yellow)	平成30年度
■ (orange)	令和元年度
■ (red)	令和2年度
■ (purple)	未整備区域